

難聴児の早期発見・早期支援に 対する提言

難聴児の早期発見・早期療育推進のための
基本方針作成に関する検討会

一般財団法人全日本ろうあ連盟
石 橋 大 吾

団体概要

●一般財団法人 全日本ろうあ連盟

47 都道府県に傘下団体を擁する全国唯一のろう者の当事者団体

目的:ろう者の人権を尊重し、文化水準の向上を図り、その福祉を増進すること

●活動内容

- 手話通訳の認知・手話通訳事業の制度化
- きこえない・きこえにくいことを理由とする差別的な処遇の撤廃
- ろう者の社会参加と自立の推進・調査研究事業の実施
- 国際交流の実施
- 文化、スポーツの振興等

団体概要(難聴児支援の活動)

●2015年～2016年

「人工内耳に見解を示すプロジェクト」

耳鼻咽喉科医師や人工内耳ユーザーと協働し「人工内耳に対する見解」を公表

●2019年

当事者、耳鼻咽喉科医師、言語聴覚士、ろう教育関係者、
きこえない子どもの保護者をメンバーとした

「ろう乳幼児等支援対策プロジェクトチーム」を設立

※近日中に、きこえないお子さんを持つ保護者を対象とした
パンフレットを発行予定。



当事者から見た難聴児の保護者が必要とする情報・支援

保護者にとって、すべての情報は新しく初めて触れるもの

→最初に出会う医師等、医療従事者の言葉は、保護者にとって大きな影響力を持つ

→難聴児の子育ては情報が得づらく、周りに同じような境遇の親子もいないことが多い

→保護者は不安な心境の中、与えられた情報の範囲で、言われるまま子育ての方向を決めてしまう

子ども本人にとって、本当に適した判断でしょうか？

当事者から見た難聴児の保護者が必要とする情報・支援

- ・保護者に、相談相手・相談機関、就学先など
さまざまな選択肢があることを知ってもらうこと

※きこえない子どもの実態は多様であるため、特定の選択にこだわらずに考えられる体制が大切

(例：Aくんが〇〇を選択して成功→BちゃんもCくんも同じ方法 ではない)

※選択の幅を広げるためには、地域のネットワークの活用が必須

- ・最初に出会った支援者がどのような人であっても、等しい情報が与えられること(特に、**言語・コミュニケーション手段についての情報格差が生じないこと、支援者がきこえない子どもの言語・コミュニケーション手段を正しく把握していることが求められる**)

難聴児の早期発見・早期療育のために 自治体に求めること

早期にロールモデル(きこえない大人・きこえない子どもを育てた保護者)と出会う体験の支援

→保護者が自分の子どもの「育ちの見通し」を持つ機会の保障

※子ども本人が自ら選択する「ライフステージ」の土台づくり

→子ども本人が、きこえないことを「特別な状況」ではなく、「同じきこえない仲間がいる」と受け止められる機会の保障

- ・障害福祉関係課と子育て支援関係課の連携
- ・(隣県も含めた)地域の関係機関の綿密な情報共有
- ・難聴児支援ネットワークへの当事者参画 を強く求める

手話言語と人工内耳

「手話言語」は、すべてのきこえない・きこえにくい子どもたちにとって生きていく上での拠り所であり、セーフティネットとなる言語

人工内耳や補聴器により一定の聴力を提供できる可能性がある一方で、

- ① 実際の効果には、個人差が極めて大きいこと
- ② 音声言語のみならず、手話言語を使用するコミュニティもあること
- ③ 子ども本人が「自分はきこえる人と同じではない」という問題に
直面する時期の対応が大切であること



この情報が、日本全国どこでも、
本人や保護者にきちんと提供されるべき

手話言語と人工内耳

- ・聴覚活用、聴覚回復などのリハビリテーション的側面のみならず、きこえない人たちの文化や、アイデンティティなどの心理的課題も十分に考慮した情報提供と、選択決定を支える支援の仕組みが必要
- ・「音声言語（日本語）か、手話言語か」という二者択一制ではなく、子ども本人のきこえの程度や、子ども本人や親の意思に応じて「音声言語（日本語）も、手話言語も」与え、子ども本人が成長してから、どのようなコミュニケーション方法を望むかは子ども本人に選択させるべき

まとめ

- 日本全国どこにいても、きこえない子どもの子育てについて等しく情報が得られ、その情報に偏りがいないこと
- 補聴器や人工内耳をしても手話言語にアクセスできる環境
- 成人のろう者・人工内耳装用者と触れ合うことができる環境
- きこえる保護者や医療従事者も理解し、安心できる社会

目指すのは、きこえる人もきこえない人も共に生きることが
できる**共生社会**であり、日本語も手話言語も共存できる
社会

互いに極端に偏らない考え方・行動を

資料便覧

- 全日本ろうあ連盟 人工内耳に見解を示すプロジェクト
「人工内耳に対する見解」

<https://www.jfd.or.jp/2016/12/01/pid15873>